

茨城県の県土づくりを支える4本の高速道路ネットワークの整備進展

— 圏央道4車線化と東関東全線開通に向けて —



現在、茨城県には、常磐自動車道(常磐道)、北関東自動車道(北関東道)、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)、東関東自動車道水戸線(東関東道)の計4本の高速道路が通っています。その中でも、圏央道については、一日も早い4車線化を、東関東道については、一日も早い全線開通をさせるため、整備を促進しています。

<首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の機能・役割>

- ◆ 首都圏の道路交通の円滑化
- ◆ 災害時の緊急輸送路・代替路の確保
- ◆ 沿線の地域の活性化 etc

<東関東自動車道水戸線(東関東道)の機能・役割>

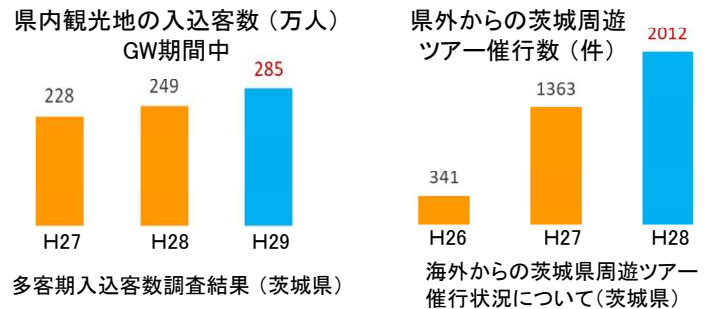
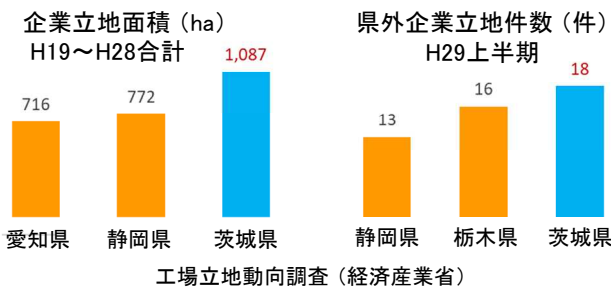
- ◆ 北関東方面との連携強化
- ◆ 茨城空港、成田空港を結び他圏域との交流促進
- ◆ 茨城港、鹿島港を結び輸送利便性の向上 etc



どちらも茨城県の発展を担う
極めて重要な道路！！

高速道路の整備効果

◆ 高速道路の整備により、産業・観光への整備効果が現れています！



茨城県の企業立地は全国トップレベル！！

茨城県は世界からも注目！！

高速道路の整備と共に、工業団地の建設が進み、平成19年度から平成28年度までの10年合計の企業立地面積は**全国1位**！また、平成29年度上半期の県外企業立地件数も**第1位**！

高速道路により、アクセス性が向上し、茨城県を訪れる人は年々増えており、海外から茨城県を訪れるツアーの数は平成28年は平成26年の**5倍以上**！

圏央道と東関東道の完成による整備効果

圏央道が4車線化し、東関東道が全線開通すると、常磐道、北関東道と一体となって、鹿島港や茨城空港、成田空港などの**国際交流拠点**を結ぶネットワークが形成されることとなり、上記の整備効果に大きな弾みがつき、以下のことが期待されます。

企業の県内誘致がさらに加速化

国内外からの観光客増加

災害時の緊急輸送路としての代替路

